

日本政府に核兵器禁止条約の 批准を求める岩手県民の会 ニュース

第11号/2023・10・23

発行：核禁条約批准を求める岩手の会

事務局：岩手県生活協同組合連合会

☎019-684-2225

“戦争をどう防ぐかという議論が核兵器廃絶につながる” — 9 / 24 岩手の会結成 2 周年記念集会開催 —



当日はオンライン視聴を含め、85人の参加でした。長崎大学核兵器廃絶研究センター研究員の林田光弘さんによる、記念スピーチを実施。「核兵器のない未来のために、わたしたちのできる」というテーマで、核兵器をめぐる現況や核兵器の持つリスク、核軍縮のあゆみを説明。「ロシアのウクライナ侵攻とベラルーシへの戦術核兵器の配備で一段と緊張感が増した。戦争をどう防ぐかという議論が核兵器廃絶につながる」と訴えました。

その後、若者によるトークセッションを実施。林田さんを進行役に、高校生平和大使（吉田碧里さん・新山怜奈さん・佐藤綾音さん）、原水禁世界大会参加者（盛岡医療生協：佐藤桃香さん）が、被爆の現実や核兵器廃絶について、体験談や思いを語り合いました。

最後に、会の当面の行動として、署名 20 万筆に向け、高校前での署名など若い層へのアプローチをする、核禁条約第 2 回締約国会議に日本もオブザーバー参加を求めること等を参加者全員で確認しました。

参加者からは、「林田さんのスピーチがとてもわかりやすくとても勉強になった」、「若い世代の思いが聞けて元気をもらった。若者には経験をさせる事、大人はそれを支援することが大事」、「核兵器をなくすためには戦争をしない・させないこと。戦争が始まると市民が巻き込まれるので、自分ごととしてとらえて、学び・広げる事が大事」などの感想が寄せられました。

◇見逃し配信はこちら⇒ <https://youtube.com/live/sPQHiUkMT-0?feature=share>



★岩手の会への賛同金にご協力ください。団体・個人問わず、

一口 1,000 円以上で何口でも構いません。振込または幹事団体まで。

振込先：岩手銀行青山町支店（普）1207693 岩手県生活協同組合連合会 会長理事 飯塚明彦

≪11/27～核禁条約第2回締約国会議に日本もオブザーバー参加を！≫

①岩手の会街宣 11月18日(土)11時半～12時クロステラス盛岡前 ※雨天中止

②11月上旬一斉行動の呼びかけ…横幕やプラスター貸し出し、配布用チラシを準備します。各地域で街宣署名、ピラ配り等行動を！お問い合わせは岩手県生協連まで。

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

岩手の署名数(9月末現在)52,121 筆

「核兵器禁止条約」に署名した国 93 か国・批准した国 69 か国

≪日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会 幹事団体≫

岩手県原爆被害者団体協議会 / 平和環境岩手県センター / 原水爆禁止岩手県協議会

岩手県生活協同組合連合会 電話：019-684-2225 FAX：019-684-2227